

冬到来と博物館

博物館ザッ記 No. 18
2020.12



鳳来寺山初冠雪(令和2年12月16日)

初霜が12月1日でした。昨年はほとんど積雪がなかったのに、久しぶりの鳳来寺山の雪景色が、とても神神しく感じられました。

黄柳川小学校6年生“地層学習”
(令和2年12月4日、10+1名)

理科の授業として、館内の展示と鳳来寺山麓でみられる地層の露頭を観察しました。



東三河ジオガイド協会設立(令和2年12月5日)



準備を進めてきたジオガイドの協会が設立されるはこびとなり、この日、豊橋市野外教育センターで総会が開催されました。いよいよ舟出となります。総会後は、眼前にみえる伊古部海岸にくり出し、さっそく研修会がおこなわれました。ジオパークにとって、なくてはならないジオガイドさんが、東三河で活躍できるように、ジオパーク構想の推進が重要になってきます。



鳳来寺山 富士見岩探索
(令和2年12月7日)

鳳来寺山に富士見岩と名づけられた岩場があるそうで、探索に出かけることにしました。

まず目指したのは、鳳来寺山の最高点の瑠璃山(695m)。ここは四方を見渡らせる絶好のポイントです。頂上に立って東の方角に目をこらすと… 見えました。

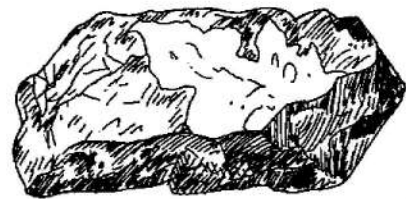
富士山の山頂部が、赤石山脈の稜線のむこうに顔を出していました。

次に鳳来寺山の尾根づたいに富士山が見えるポイント(富士見岩)を探して移動しました。天狗岩と高座岩の間あたりに見晴らしの良い岩場がありました。

その上に立つと… 見えました。瑠璃山頂よりもさらにちょっと、頂部を見ることができます。

鳳来寺山から東北東の方角に、直線にして112km先に富士山があります。

この場所が富士見岩かもしれない。この岩場には、誰が見つけたのかアレス展望台の札がかかっています。



迎春準備(令和2年12月31日)

大そうじを終え、年末年始の休館に入った博物館の門の両脇に素敵な門松が立てられました。

友の会会長の丸山さんの作です。松、竹、蠟梅に南天が添えられたオリジナル門松です。

年末大そうじ(令和2年12月27-28日)

新型コロナウイルスの再拡大で、年末恒例の友の会ボランティア(博物館協力隊)との合同大そうじ大会は中止としました。職員だけで落ち葉かき、泥あげ、館内清掃などを行いました。近所で仕事中的丸山会長も緊急参戦し、樹木剪定を行うこともできました。新しい年はコロナも治まり、明るく、希望のもてる年になるよう、いっしょけんめいそうじしました。



鳳来寺山
自然科学
博物館